

団体名 一般社団法人やまぐちGISひろば（宇部市）

代表者名	三浦 房紀	団体の目的 ・山口県内のGIS(地理情報システム)に関わる会員相互の交流と協力や、教育機関を始めとする関係機関・研究団体と連携を図り、GISの普及・活用等を推進する
構成員数	123人	
設立	H29年6月	
問い合わせ先	☎0836-45-3042（弘中）	

事業名 地域の防災活動を支援するGIS(地理情報システム)構築事業

事業の目的 ・現状、地域で行われている防災図上訓練(DIG)で取得する地域の危険箇所を、大判地図(紙)ではなくGISに記録することにより、ハザードマップ等地域防災計画立案が行える仕組みを作る

事業の内容

- ① 防災ワークショップ(まち歩き)
日時: 8月18日(土)9:00~15:00 場所: 山陽小野田市厚狭公民館、周辺
- ② GIS講習会
日時: 10月27日(土)9:00~17:00 場所: 山口東京理科大学(山陽小野田市)
- ③ GISフォーラム(GIS講演会)
日時: 11月9日(土)13:00~17:00 場所: 常盤工業会館(宇部市)
- ④ 成果報告会
日時: 3月30日(土)13:00~15:00 場所: 常盤工業会館

事業の成果

- ・地域で産官学民によるコラボレーションが行えた
- ・地域の危険箇所情報の取得のノウハウが学べた
- ・GIS表現による視覚効果の高さが実感できた

活動現場レポート! 防災ワークショップ(まち歩き)〈H30.8.18/山陽小野田市厚狭公民館、周辺〉

この日は、地域住民や防災士、市職員など45人が参加されました。

初めに、地元の防災士から、危険箇所の見分け方の説明があり、その後、参加者が4班に分かれて、厚狭駅周辺を歩きながら危険箇所を点検しました。

まち歩きしてみると、傾いた電柱や冠水時に危険な歩道両脇の側溝、中央にマンホールがある歩道など、日頃気がつかない発見がありました。

また、過去の水害の様子から地形的に危険な箇所も知ることができ、判明した危険箇所は、まち歩き後、各班で地図やGISに記録しました。

最後に、GISの特徴(紙の地図との違いなど)や重要性について説明がありました。GISを使用し、そこに情報(例えば避難所、水没エリア、危険箇所等)を重ねていくことで、災害時の避難の最短経路や、迂回の指示等がすぐに示され、地図をたくさん用意しなくても、多くの人に一度に情報を共有することができるようになりました。



危険箇所のチェック



ワークショップ

